



桜だより



2022年8月19日発行

終戦記念日に思いを寄せて ～全校朝会より～

77年前（1945年）の8月15日、世界で初めて実戦で原子爆弾が使われるなど、大変多くの犠牲者を出した悲惨な戦争が終わりました。戦後の日本は憲法に平和主義を取り入れ、絶対に戦争をしない決意をしました。もしも、この憲法の前文に示された平和への誓いを世界中の国が共有できたならば、世界平和は大きく前進するものと思います。残念ながら、未だに世界から紛争はなくなっていません。戦車やミサイルなど人を傷つけるために使っているお金を、皆が幸せに生きるために使うことができれば、どんなに素晴らしいことか…。戦争を人の心が引き起こすのであれば、戦争をやめることも人の心でできると思います。大変に難しいこととは思いますが、誰にとっても平和な社会を築けるよう、子どもたちに平和の心を植え続けていきたいと思えます。

今月の朝会で終戦記念日の話をして、「他人の不幸の上に自分の幸福を築くことはしない」という言葉を伝えました。全てにわたってこの心を持ち実践していったならば、きっと社会は大きく変わっていくと思えます。戦争を知る世代が少なくなる中、これからも平和の大切さを伝えていきたいと思えます。



フレンドタイム

2学期最初のフレンドタイムは、低学年が担当しました。5つのブース毎に課題が設けられ、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。



学校昼食会の回数が増えます

保護者からのご希望もあり、これまで週2回で実施していた学校昼食会を週3回に増やします。調理人のセイヤさんや日系協会とも調整を図り、9月5日の週からの実施となります。学校昼食会は子どもたちからも大変人気で、毎回完食しています。子どもたちも回数が増えることで大変に喜んでいました。



社会見学 会社訪問

18日（木）、3年生以上の子どもたちが、ボタフォゴにオフィスを構える三井ガス様を会社訪問させていただきました。今年度、子どもたちは総合的な学習の時間を使ってSDGsについて学習をしています。今回は、企業がSDGsにどのような関りをもって取り組んでいるのかについて、三井ガス社長の城山様からお話を伺いました。



いろいろなお話を伺って、子どもたちもたくさんのことを学んだようです。子どもたちからは次のような感想が出ました。

- SDGsでは、ほとんどの目標につながっているということが分かりました。
- 環境にやさしいエネルギーを開発していることが分かりました。特に環境の保全、経済の開発、社会の発展に貢献していることが分かりました。
- 日本人とブラジル人が関わって仕事をすることで互いに外国人と接し、今までとは違う発見ができるので良かったなと思いました。実際に会社の中身を見ることで、自分のイメージと同じだったこと、違っていただいたことを知ることができました。
- 働いているブラジルの人たちがフレンドリーで、城山さんの発表も分かりやすく良かったです。

最後にキャリア教育のお話になり、子どもたちに次のメッセージをいただきました。
可能性は無量大！

- ・未来は皆さん次第
- ・夢はかなえられる、夢は変化していく、夢を持ち続けることが大切
- ・今やっていること、自分、家族、学校、友人を大切に
- ・自信を持って、失敗をおそれずいろいろなことに挑戦、なんでも吸収
- ・未来は必ずと拓かれる、自分がやるべきこと、社会に貢献すべきことも必ず見つかる
- ・好奇心旺盛で輝いている今の皆さんの瞳を大切に、豊かな未来を作ってください

ご多用の中、子どもたちを温かく迎えていただいた城山様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

